

目次

会報創刊によせて	1
2014年度ホームカミングデーと57ネット総会	1
江戸落語を楽しむ会	1
上野界隈 街歩きイベント	2
「シバ研」～ゴルフを通じて、ネットワーク作りませんか?	2
運営委員会から	2
雑記帳	2

会報創刊によせて

昭和 57 年ご卒業の皆さまへ。今から 12 年前の平成 14 年、学員会から「昭和 57 年卒業生の年次支部を作りませんか」との呼びかけに 3 名の同期が名乗りをあげました。

3 名はこう同期に呼びかけました。「ビジネスに見られる縦の社会とは異なる、横のネットワークを活かした、しなやかでユニークな活動を展開したい。社会的に責務を担う期待される世代がゆえ、母校に少しでも貢献することも、混沌とした時代においては意義深い事と存じます」・・と。

この言葉に同感し、魅せられ入会された会員の皆様は多いのではないのでしょうか。

その後は「白門 57 ネットは私たちのたまり場!!」のスローガンのもと、毎年各種イベントを開催、都度ホームページにも掲載してまいりました。

設立後 11 年を経過したこの機会に、1 年間の活動を 1 枚のペーパーにまとめ会報として会員の皆様にお届けし、ともに共感していきたいとの思いで会報を創刊することとしました。年 1 回の発行ではありませんが、この会報をもとに我々会員同士のネットワークを更に拡大して参りましょう。

今後とも末永く白門 57 ネット(中央大学学員会 57 ネット支部)をご支援頂きますよう、お願い申し上げます。(会長 浜田 英明)



2014 年度 ホームカミングデーと 57 ネット総会

毎年多摩キャンパスで行われる恒例イベントとして OB にも定着してきた感のあるホームカミングデー。昨年は台風の直撃により事前に中止となってしまいましたが、今年は素晴らしい秋空のもと、10 月 26 日(日)に開催されました。

白門 57 ネット支部では、この日を利用して午前 11 時より『第 12 回定期総会』を多摩キャンパス商学部棟 5402 号室で開催しました。会員数 705 名、総会出席 17 名、委任 238 名で計 255 名となり、総会成立要件(25%、177 名以上)を満たして議事は進行了。浜田会長の開会挨拶に続き、議長選出、前期(H25/9-H26/8)活動報告、会

計報告、会計監査報告、役員・運営委員の一部改選、当期(H26/9-H27/8)活動計画、会計計画と進出し、すべての議事を採決して総会は無事終了しました。活動報告を聞いているだけでも、ここ数年着実に本会が活性化していることは明らかで、うれしい限りです。また、グループ活動の紹介として、ゴルフ研究会(略称シバ研)浅野昌宏氏より近況報告、居酒屋研究会(略称イザ研)岡日出夫氏、旅行研究会(略称トリ研)乗兼浩明氏よりそれぞれ近況報告がありました。

総会終了後は、会場をヒルトップ(食堂棟)4階に移して懇親会。近くのテーブルに 57 卒のローンテニス

クラブのメンバーがおり、57 ネットへお誘いしました。また、59 卒メンバーとも交流が図れました。

ホームカミングデーの抽選会も盛り上がり、語り足りない人たちは二次会、三次会へと流れつつ、散会となりました。来年のホームカミングデーには、より多くの方に参加していただきたいと思います。

(池田 冬彦)



江戸落語を楽しむ会

去る 9 月 28 日(日)、白門各支部との共催による白門 57 ネット企画の秋季イベント『江戸落語を楽しむ会』が中大駿河台記念館 510 号室で開催されました。講演は中大落研(オチケンではなくラクケンと読むらしい)出身で初の真打、三代目桂やまと(平成 7 年中大文学部心理学科に入学、落研に入り卒業後七代目桂才賀に入門。15 年の研鑽を積み、とうとう今年 3 月に真打に昇進したという逸材)。

白門各支部からも多数の参加を得て、30 名を超える聴衆を迎えて会はなごやかに始まりました。57 ネット浜田会長からの挨拶に続き、桂やまとが登場。まずは中大多摩校舎ネタ、落研先輩ネタなどを自虐的に紹介し、先輩だらけの会場は爆笑に次ぐ爆笑。一転してプロの噺家としての小噺では緊張感あふれる高いレベルの芸能

に接することができ、感動的で素晴らしい講演会となりました。

終了後の懇親会にはやまと師匠にもご出席いただき、白門 39、44、45、48、53 の各支部の諸先輩方や出版白門会の方々など、さまざまな中大 OB と 57 ネットのメ

ンバーで終始なごやかな雰囲気の中で交流を図ることができ、とても楽しい会となりました。会を大いに盛り上げていただいたやまと師匠や諸先輩方に、この場をお借りして御礼申し上げます。(池田 冬彦)



上野界限 街歩きイベント

街歩き企画4回目の今年は、「上野界限街歩き」。上野公園から湯島を經由してお茶の水まで歩きました。梅雨の最中の6月29日(日)、12時に上野公園内の上野精養軒に集合。

今回は白門57ネット会員のご尽力で上野精養軒3153店の一面を確保いただき、豪華な昼食(+アルコール)を堪能。あまりの美食に街歩きを忘れそうになった午後2時過ぎ、すっかりできあがった感はありませんが、いよいよ上野を出発。西郷さんの銅像にあいさつをして、1つ目の目的地である不忍池のほとりの下町風

俗資料館を訪ねました。古い建物と遊びに昭和の空気を感じつつ、一瞬、子供の頃に戻りました。その後、上野の街をそぞろ歩きながら2つめの目的地、旧岩崎邸庭園へ。ここでは明治の西洋建築の美しさに触れました。湯島天神に向かう手前で突如雨が降り出し、慌てて境内へ。おりしも結婚式の最中。激しい雨に途方に暮れながらも、垣間見た未知らぬ新しいご夫婦の幸せを祈りました。その後日本サッカーミュージアムの予定はW杯敗退もありパスし、そのまま電車でお茶の水へ移動。

午後5時過ぎからは懇親会(咲

くら・お茶の水店)で更に懇親を深めました。

昼の懇親会12名、街歩き11名、夜の懇親会8名。ちなみに筆者の当日の総歩数は7903歩。無理なく気軽にご参加いただける企画ですので、都合のつく範囲のみの参加でもOKです。次回は是非一緒に！(照岡 知恵子)



雑記帳

居酒屋研究会ことイザ研。白門57ネット運営委員有志の集まりです。

最近の日本酒の品質向上は素晴らしいもので、旨い！と唸られることしきり。それにともない、なかなかの名店、地酒や、グラフィックデザイナー・居酒屋探訪で著名な太田和彦氏流にいうと「名居酒屋」とでもいうべきお店が増えてきていることも実感します。

57メンバー数名でワイワイ飲み歩いていたらとても楽しい。全国の美味しい地酒と肴を居ながらにして堪能できるのだからこりゃたまらん。57のイザ研でもいいじゃないかと、スツと立ち上がった次第です。

イザ研のイザには、居酒屋の頭の音から来ているのですが、個人的には、イザ、飲みに行こう！との楽しい気合いも入っており、いい響きだと悦に入っています。高級感もなく誰でもいつでも割り勘決済！(会費補助は一切ないです)

ついでに「研究会」とは申すものの改まった勉強会ではありません。旨い酒と肴を食するのが強いといえば「研究」です。しかし度を越した研究は、勉強にならなくなるという弱点が、酒には常につきまといます。だから何度繰り返しても新鮮なのです。

今年は、3月と4月の2回行いました。3月7日は荏原中延・かもすや酒店(日本全都道府県の酒が勢揃い)で9名参加。4月20日横浜野毛・仙屋8名参加。こちらは気取らない親父の豪快料理と、肴に合わせた地酒が最高。57ネット副会長の池田冬彦さん推薦のお店です。

今はまだ57ネット運営委員有志による活動ですが、これからも不定期ですが、57会員にも広く参加を呼びかけられるような、楽しい企画を催していきたいと思えます。(岡日出夫)

「シバ研」～ゴルフを通じて、ネットワーク作りませんか？

「シバ研」は、白門57ネットのゴルフ愛好者が腕前に関係なく楽しい時を過ごす集いの場です。

第一回を群馬県の21センチュリークラブ富岡で行って以来、山梨(大月C)、千葉(丸の内C、ゴールド木更津C、南茂原C)、各地で不定期ながら継続して開催することによりその輪を広げてきました。

昨年からは年2回、定期開催としてより多くの白門57ネット会員や同期の皆さんの参加を募ってゴルフによる友達の輪を広げていこうと活動しています。

11月15日(土)には、伊香保国際Cにて今年2回目の「シバ研」ゴルフコンペを開催しました。

まだまだ忙しい世代の我々です。シバ研は週末や休日に限られていますが、リタイア後の平日ゴルフと一緒に楽しむネットワークへの皆さまの参加をお待ちしています。腕に自信のある方もそうでない方も、ご夫婦による参加も大歓迎です。

(多田 弘之)



運営委員会から

当会は任意団体「白門57ネット」として2003年9月に設立されました。その後2010年3月の中央大学学員会幹事会において、「中央大学学員会57ネット支部」の設置が承認されました。学員会の登録名称としては「白門」の冠が付いていません。これはその当時、学員会支部に「白門」の冠をつけない事とされていたためです。学員会運営に対応するため、

白門57ネットの会長は学員会57ネット支部の「支部長」を兼務し、また、役員には「支部幹事長」という役職も置いています。

運営委員会は御茶ノ水の「中央大学駿河台記念館」にて開催し、イベント企画等の議論や、総会資料発送作業等を行っています。開催頻度は2~3ヶ月に1度程度、主にアフターファイブの開催で、終了後はアルコールを入れ

に繰り出します。首都圏での活動となりますが、役員・運営委員に限らず、白門57ネットを盛り上げるため、同期生の皆様のご協力をお待ちしています。(三上 彰久)

